

令和2年5月2日

新入生の皆様へ
在学生の皆様へ
保護者の皆様へ

人間環境大学
学長 牧山助友



昨年、中国武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大は、皮肉にもグローバル化している今の世界に瞬く間に広がりました。我が国においても「緊急事態宣言」が出され、われわれは今、経験したことのない未曾有の状況下に置かれています。国及び自治体からの要請を受け、各キャンパスは立ち入り禁止となり、学生の皆さんには、授業等が制限されることが余儀なくされています。

また、国内外で多くの感染し亡くなられた方もいらっしゃいます。今も懸命に取り組んでおられる医療従事者の皆様には敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。

一日も早く日常に戻ることを期待しているところではありますが、このような状況はまだまだ続くことを覚悟しなければなりません。

人間環境大学としては、国および自治体からの新型コロナウイルスの感染対策の要請に最大限の協力に取り組んでいますが、皆さんの学修環境の確保は極めて大切です。大学における授業は面接授業を基本としてはいますが「緊急事態宣言」が解除され、安全に登校できると大学が判断するまでの間、実施可能な遠隔授業等による授業を5月18日（月）より実施することといたします。

このことについて、ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、今後の状況の変化に伴い、さらなる変更が生じた場合につきましても、大学ホームページ等でお知らせいたします。

本学はきめ細かいカリキュラムと、全国の大学の中でも特色のある優れたコマシラバスを学生に提示し、教員はそのコマシラバスに基づき責任ある授業を実施しています。保護者の方にはぜひ一度そのコマシラバスを縦覧いただければ幸いです。

今年度の入学式は、中止することといたしました。言うまでもなく入学式は、学生生活における重要な節目にあたる式典であります。新入生の皆さんの安全を最優先すること、また、今後の授業等の学生生活に支障を来さないことが何よりも重要であるという判断に至り、入学式を中止するという苦渋の決断をいたしました。新入生の皆さん、ご家族の皆様には、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新入生を含むすべての学生の皆さん、本学は、「いのち」、「こころ」、「環境」の未来を創造するため、人間そのものの身体を、より健康にするための「看護学」、人のこころに向き合い心身の健康を支える「心理学」、科学や経済の力で地球生態系を持続可能なものにする「環境科学」、を教育研究の柱としています。

新型コロナウイルス感染症のような災禍は、グローバル化された現代社会において今後も十分起こりうるものです。これからの時代を生きる学生の皆さんには、自ら判断し、人々と協力して危機を乗り越える強さが求められています。実際に世界が危機に直面している状況を見つめながら、予期せぬリスクにも対応できる能力を養ってほしいと思います。

その意味で大切なことは、何ごとも「今が重要であること」です。後悔することがあっても過去は変えることができません。唯一変えることができるのは「今」なのです。自分の将来は「こうなりたい」ことを私たち人間は願います。この「こうなりたい」という未来を創るには、皆さんの一日一日の「今を変えること」しかできないということです。勉学・研究に向かう「今」を大切していただきたいと思います。

大学での単位修得は1時間の授業に対して学生自らが予習と復習を行うことを基準としています。大学は責任を持って授業の提供を行います。つきましては、保護者の皆様におかれましては、家庭内での学修環境と学修時間を確保して頂きたく、ご利用されているパソコン等を優先的に利用させて頂きますよう、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、各学部の対応については、別途本学HP等にてお知らせいたします。